

【師岡熊野神社】

神亀元年(724)師岡一帯の土地を開いた全寿仙人が創立。筒粥神事は横浜市指定無形民俗文化財。御社紋は「三つ足鳥」(八咫鳥)はサッカー日本代表のエンブレムと同じで関係者のお参りも多い。アカガシを中心とした社叢林は県の天然記念物。市街地の、極めて自然に近い常緑広葉樹林として貴重。

師岡:「もろおか」はたくさんの丘がある所という意味。かつては「諸岡」と書かれ後に「師岡」に。

【みその公園「横溝屋敷」】 (横浜市の指定文化財)

江戸時代の豪農だった横溝家の民家を保存。屋敷は江戸時代末期から明治時代中期建築の茅葺き屋根の母屋・表門(長屋門)・穀蔵・文庫蔵・蚕小屋からなる。

【ニツ池】

昔、池には竜がすみ、村人を苦しめていた。村では毎年生けにえに娘を差し出していたが、ある年、娘の婚約者が熊をつかって竜を打ち倒した。その竜の亡きながら堤となり池を二分したといわれている。

【三ツ池公園】 (県立公園 面積約30万m²)

豊かな緑の中に三つの大きな池がある。自然の起伏を巧みに生かした園内は、市民のオアシスになっている。78品種、1,600本以上の桜が楽しめる「さくら名所100選」。平成2年、神奈川県と韓国京畿道との友好提携を記念して「コリア庭園」が整備。

【總持寺(そうじじ)】 (曹洞宗の大本山)

元亨元年(1321)瑩山禅師が石川県に創建、永平寺と並ぶ曹洞宗の大本山。明治31年(1898)火災で焼失。明治44年(1911)に現在地に移転。約50万m²の広大な敷地に50余の堂塔と豊かな緑。四季折々の風情があり、散策に訪れる人も多い。

大本山が二つあるのは、いろいろ理由はあるが、永平寺をおこした道元禅師を“高祖”、弟子の瑩山禅師を“太祖”としているからか。

墓地には石原裕次郎はじめ、浅野総一郎、芦田均(元総理大臣)、前田青邨(画家)、前田山(元横綱)、など著名人の墓も多い。